

3つの診療所で健康診断が受診できます

年に一度は健診を受けましょう

大阪きづがわ医療福祉生協では病気を治療することだけにとどまらず、病気を予防する健康づくり活動に力をいれています。
大正区・西成区・港区にある診療所で健康診断を行っています。
お近くの診療所でぜひご受診ください。



健診実施診療所

※健診内容・料金・健診時に必要なものについては、各診療所にお問い合わせください。

▶西成民主診療所 お問い合わせ・ご予約 06-6659-1010

平日健診	午前	月～金	9:00～12:00
	午後	月・水・金	18:00～20:00
日曜健診	第2もしくは第3日曜(月1回) 午前9:00～12:00まで		

▶大正民主診療所 お問い合わせ・ご予約 06-6554-1197

平日健診	午前	月～土	8:30～(月・火がおすすめ)
	午後	月・火・金	17:30～
日曜健診	第3もしくは第4日曜(月1回) 午前8:15～11:30まで		

▶みなと生協診療所 お問い合わせ・ご予約 06-6571-5594

平日健診	午前	月～土	9:00～
	午後	水・金	18:00～
日曜健診	月1回(実施日はお問い合わせください) 午前8:15～11:30まで		

消費税は①から③までのすべてに反します。

近世代税制の原則として
①応能負担 ②累進課税
③生活必需品には課税しない生計費非課税

消費税増税

ホントにいいの？

大阪きづがわ医療福祉生協
2013年
バレンタイン
行動



2月14日 職員・組合員20名が集まり、チョコレートとバレンタインカードを配りました。

生活を襲う消費税

■低所得層の負担が重い(逆進性)のが消費税の特徴です。

低所得世帯は自由に使えるお金の大半を日常の買い物にあてるので消費税の割合が大きくなります。

■中小企業も負担増

増税分を商品の価格に転嫁できない中小零細企業は、増税分を自己負担に。

増税分は社会保障以外にも使われる?

■「消費税は社会保障へ」は本当?

安倍政権の大盤振る舞いで、増税分が大型公共事業に投入されるのが懸念されます。

消費税増税で医療・介護事業倒産の危機

■医療・介護事業の損税問題

保健での医療・介護費には消費税は課税されませんが、医薬品・材料費には消費税が課税され、多くの事業所が経営危機に陥ります。

2012年8月に成立した法律により

2014年4月 → 8%へ

2015年10月 → 10%へ

引き上げられます

編集部 だより

このおふたりを紹介させていただきます。私がよくいく阿波座にあるお店の店主、田淵雅圭さんと奥さんの香奈子さんです。

2年前、開店されたばかりのときにたまたま入ったお店で、それがおふたりとの出会いでした。雅圭さんは私を最初「先輩さん」と思っていたそうです(笑)。よくお店に通うようになり、雅圭さんのお父さんやお母さんともお店でお話しているうちにお母さんが西淀病院の元職員だったという話が出てきて驚いた時もありました。

雅圭さんはカメラマン、香奈子さんは女優さんという経歴をお持ちで、いつも明るく元気なおふたり。お父さん・お母さん、スタッフのみなさんと共にいつも「家族」のようにあたたかく迎えてくれます。

実は大阪きづがわ医療福祉生協になって最初に組合員加入していただいたのが雅圭さんと香奈子さんです。このたび映画「東京家族」のポスターとチケットをお店に置いていただき、販売にもご協力いただきました。「班会とかも出来たらいいなあ〜」とお話をさせてもらって「料理教室」や「中国語講座」などいろいろと提案してくれました。いつか実現するとうれしいなと思う今日の頃です。 大正エリア 石村直志



012
今月の
いちまい

私達も観てきました
/田淵ご夫妻

理事会報告

第8回理事会

日時 2013年1月19日[土] 午後3時から5時半

場所 きづがわ本部 会議室

出席 理事 25/31名中 監事 3/3名中 オブザーバー 1名

協議事項

- 第7回理事会議事録の件
中原理事より数字の指摘があり補足報告
- 情勢学習 1.12.きづがわ学習会「憲法25条と生活保護制度」
- 医療福祉生協連の「いのちの章典」理念学習会
倉澤副理事長の調査資料を基に意見交換を行いました
- 強化月間の到達、年度末に向けた方針確認
「みらい」手配り担い手から「見守り」も、一人10軒以内で担い手増やし

承認事項

- 12月の経営結果について
- 大正Aの新規事業についての件
- 銀行借入れの件
- 総代会に関する件 6月23日[日] 西区こども文化センター
- 各報告承認事項について
事業に関する報告 無料低額診療の取り組みの推移
原発ゼロ・住吉病院・交通局の民営化、などの取り組みについて
各エリアの活動報告と計画について
2月13日[水] 常務理事会
2月16～17日 学習会 理事会

「東日本大震災 被災地支援」みやぎ県南医療生協 みやぎ虹の架け橋復興支援センター訪問

みやぎ県南医療生協の職員がみやぎ虹の架け橋復興支援センターを訪ねた。被災地の現状を聞き、支援の手を届ける。被災地の生活に届いていました。私たちの住む関西からも出来ることはたくさんあります。支援のバトンを繋いでいき、絶やさないことが大切だと宮城へ行って実感しました。



地域の公民館で健康チェック!寒い中10名が参加してくださいました

関西の医療福祉生協の住宅修繕作業や、被災直後、職員が声をかけてくれたことに感謝されています。支援の手は確実に被災地の方々の生活に届いていました。私たちの住む関西からも出来ることはたくさんあります。支援のバトンを繋いでいき、絶やさないことが大切だと宮城へ行って実感しました。



「きづがわ」が贈った寄せ書きが被災地で飾られています

1月12日に、宮城県のみやぎ県南医療生協が運営する「みやぎ虹の架け橋復興支援センター」へ、震災支援活動で訪問しました。津波が押し寄せ、被災した地域を訪問しましたが、何も無い広い荒野がずっと続いている地域が多くありました。そこにはもともと住宅はもちろん、幼稚園や学校、高齢者が生活する施設もあった場所です。

支援のバトンをつないで、絶やさないで

あなたは どう思う?

税金は応能負担にするべき。消費税は無くしてほしい。 70歳 男性

消費税が上がったら買い物しません。 87歳 女性

年金が下がり、消費税が上がると生活がとて苦しくなります。もう年寄りでは生活がやって行けません。 73歳

毎日苦しい生活をしています。その上消費税が上がれば、大変困ります。 65歳 女性

平等に負担すると言っているが、所得の高い程ゆるく、低い程きびしい状況だと思うし社会保障にまわっていません。 55歳 女性

西成民主診療所の待合室でアンケートをとったところ、9割以上の方が消費税増税については反対でした。皆さんはどうお考えですか?

中小企業が潰れる。中小企業が潰れば日本は窒息する。 72歳 女性

今月から復興税が引かれるなど年金がどんどん減る一方で困っています。 66歳 男性

消費税をとるならとるでちゃんとしてください。 33歳 女性

今私の年齢は82歳ですが、何が何だかさっぱり判りません。どうしたら良いのでしょうか? 82歳 男性

消費税増税アンケート

Q. 増税されたら、削らざるを得ないと思う生活費は?

- A. 1位 食費 断トツでした
 - 2位 保健医療費
 - 3位 水光熱費・交際費・被服費 同票でした
- ベスト3

アンケート実施日:2月4日~8日 場所:西成民主診療所 外来

消費税大増税

大阪きづがわ医療福祉生協の主張
★消費税引き上げに、以下の理由から反対を表明します。

1. 消費税は所得の低い世帯ほど大きな負担となるため、国民生活に深刻な影響をおよぼします。
2. 医療・介護事業者は消費税を転嫁できません。機器の購入や薬・材料の仕入れにかかる消費税を自ら負担しています。増税されれば、医療・介護・福祉事業の継続が困難となります。
3. 消費税は社会保障に使われる保障はありません。社会保障の根本原則である「能力に応じた負担」に切り替えることが必要だと考えています。

消費税引き上げを実施させない世論を盛り上げていきましょう!!

がもう健康 きづがわ往来



上町台地の西は昔海であったが、淀川や大和川が流れ込み河口に次第に土砂を堆積させ、いくつかの砂州ができ、これらがいわゆる難波八十島を形成していった。これら砂州のさらに沖合に、堤防を築いて新田がつくられた。新田は当初は庄屋を中心に村人が共同でひらいたが、江戸時代中期以後は、町人が幕府から請負ひいらいた新田が多い。

大正区の名の由来

北村は泉尾新田の開発者である。北村六右衛門の苗字から命名した。開拓者の岡島嘉平次が自分の居住村名、千林村(現旭区)の千と姓の岡島の島をつなぎ合わせて、千島新田と命名した。小林新田、岡田新田の名はともに開発者である、東成郡千林村の岡島嘉平次に係わるものであり、小林は千林から岡田は岡島からとったものである。

大阪江戸堀の平尾与左衛門が開拓。与左衛門の姓をとり平尾新田と名付けた。南恩加島は文政十二年(1829)二・三代岡島嘉平次によって開墾された。時の代官はその功績をたたえ、恩加島新田と称させた。岡島を恩加島と換用させたのであるが、恩加島には後世に恩を加えるという意味があったという。

大正八年三月、埋立地に町名が設定され、鶴町・船町・福町が誕生したが、町名決定の由来は、万葉集巻六の田辺福麿呂がよんだ「潮干ればあしべにさわぐあし鶴の妻よぶ声は宮もとどろに」の鶴と、同じく「あり通う難波の宮は海近みあまおとめらが乗れる船見ゆ」の船と詠者の福をとったものである。

三軒家はもと木津川尻の小島で、姫島または丸島といわれていたが、慶長十五年(1610)に木津村の中村勘助が開墾したので、勘助村と呼ばれるようになった。この地が三軒家と称されるようになったのは、勘助の開墾当時三軒の民家が建てられたからといわれている。

元禄十一年(1698)に和泉国大鳥郡踞尾村(現堺市津久野)の北村六右衛門が開墾し、当初は三軒家浦新田といわれていたが検地後、開発者の国名「和泉」と村名「踞尾」から一字づつとり泉尾と命名した。

みんなで映画
「東京家族」を
観てきました

「男はつらいよ」シリーズの山田洋次監督作品

東京家族

心あたたまる映画にふれて。 きらっと輝くつながりをつくろう

どこにでもある家族の風景を「自分自身」とした等身大の物語である東京家族。

大阪きつがわ医療福祉生協の組合員さんも多数の方がご覧になられ、「両親」「兄弟」「つながり」などを感じました。映画の感想とあわせてきらっと輝く声をお届けします。

いずれ自分もゆく道

戦中戦後と子のために生きて来た父母、せめて最後の人生は豊かにとと思うが現実の世の中…はがゆさと悔しさがこみあげてきた。(80歳・男性)

現代社会の中で失われようとしている家族のきずなの大切さに感動し、久しぶりに泣きました。医療生協の活動は、家族とはいかなけれど、地域のきずなを広げる運動をしているのだなあと感じました。(60代・女性)

自分の家族をかいまみたような感じでした。(78歳・女性)

身につまされ、自分と重ねてみていました。(71歳・女性)

いずれ自分もゆく道だろうなと感じ、これからまわりのお友達を大事に人生を楽しく生きたい。(78歳・女性)

普通の生活を表現している映画だが、これほど涙がこみ上げる映画はない。(70歳・男性)

医療生協でたまたま購入して、こないだ観に行ったが、涙を流した。(60代・男性)



「なんばパークス」に行ってきました。
千本北支部のみなさん

東京家族

名匠・小津安二郎の名作「東京物語」をモチーフに、現代に設定を置き換えて家族の絆を描いた山田洋次監督の渾身作。

ストーリー／瀬戸内海の小さな島で生活している平山周吉と妻のとみこは、子供たちに会うために東京にやって来た。しかし、仕事を抱えて忙しい日々を送る彼らは両親の面倒を見られず、二人をホテルに宿泊させようとする。周吉は寂しさから、やめていた酒を飲んで騒動を起こしてしまう…。

キャスト／橋爪功、吉行和子、西村雅彦、妻夫木聡、蒼井優

誰にでもどこにでもあるお話

2月13日に千本中南支部のなかまと一緒に「東京家族」をみてきました。本当に涙を流すほどよかったです。家族って、特に親は大切なのに煩わしい。誰よりも近いはずなのに時々遠く感じてしまう。そんな誰にでもあるどこにでもあるお話でした。私にはもう両親はいませんが、自分が年老いた親になっています。長男は

家族の移り変わりの中で子供に頼らない生き方、地域との結びつきの大切さを感じた。(73歳・女性)

やさしい視点で作られ、悪い人が出て来ない。若い世代に希望をたくしていると感じた。(60歳・女性)

誰より近いはずなのに遠くに感じる

未だに気なる子です。アメリカにいる次男一家に会いたくなりました。元気なうちにもう一度アメリカに行く事を決意しようと思います。

木村 道子さん(西成エリア・千本中南支部)

「阿倍野アポロ」に行ってきました。
千本中南支部のみなさん



心洗われるひと時でした

1月22日、平尾支部の女性5人で『東京家族』を観に行きました。

支部運営委員会のみんなで観に行こうということになり、男性も誘ったのですが「(泣けるので)ハンカチを用意して行ってくださいね」と職員に言われ、男性諸氏は泣き顔を見られるのは恥ずかしいということで女性だけになりました。

吉行和子さんや橋爪功さんは私たちより少し年上なのですが、もうすっかり『おじおばー』役が定着していて自分たちも年を取ったんだなあ実感させられました。

心温まる作品に胸がいっぱいになりました

笑ったり泣いたり心を開放して

た。笑ったり泣いたり心を開放していい気分が観終える事ができました。上映時間が長い作品だったのですが、長さを感じさせず終わったあと「えっ!もうこんな時間?!」とびっくりしました。いい作品は本当に時間を感じさせないのだなあみんな口々に言い合いながら、心洗われたひと時を過ごした後は映画館の地下にあるラーメン屋さんへ。映画のチケットを見せると一品追加してもらえ、得した気分でお昼ご飯をおいしくいただいて帰ってきました。

渡口 差知子さん(大正エリア・平尾支部)

シリーズ
医福食住
みらいの
 これが医療福祉生協の魅力



「セーフティーウォーキング」で 取り組みましよう!!

医療福祉生協で ウォーキングを学びましよう!

2月4日〜6日まで、神戸ポートピアホテルでセーフティーウォーキング指導者講習会に参加してきました。

セーフティーウォーキングとは、医療法人貴島会ダイナミックスポーツ研究所副所長の土井龍雄さんが進めている中高年からのウォーキング方法です。

このセーフティーウォーキングは50歳から急に増える変形性膝関節症や脊柱管狭窄症、骨粗鬆症などが原因で要介護状態にならない為のウォーキング法です。

このセーフティーウォーキングを大阪きづがわ医療福祉生協でも、取り組みたいと思っていますので、その時は、ぜひ組合員の皆様もご参加ください。



写真中央:土井龍雄さん



いつまでも
 元気に
 歩き続ける
 ために

健康診断を受けておられない方は急ぎましよう!

組合員様へ お知らせ

特定健康診査受診券・後期高齢者医療健康診査受診券をお持ちの方は、健康診査の有効期限(平成25年3月31日)が近づいていますので、お早めに健康診査を受けましよう! 詳しくは、各診療所までご連絡ください(機関紙みらいp8参照)。 また、健康診査を受けてなくて受診券を失われた方は、各診療所までご相談ください。

特定健康診査 受診券

氏名	診療科目
生年月日	性別
健康保険番号	※印字が不明な場合は記入してください

○健康診査を受ける前に必ずご確認ください。

○本券は健康診査を受けるために必要ですので、健康診査日まで大切に保管してください。

後期高齢者医療健康診査受診券

氏名	健康保険番号
生年月日	性別
健康診査の有効期限	〒100-0001

○健康診査を受ける前に必ずご確認ください。

○本券は健康診査を受けるために必要ですので、健康診査日まで大切に保管してください。

おたよりコーナー

■あけましておめでとございます。今年も宜しく願います。この前、小学生の孫にカケッコで負けました。くやくして運動不足を感じ少しずつジョギングをしています。孫に勝てなくても自分の為に頑張ります。

大正区・林 節子さん

■広島原爆の記事がありました。私は長崎で育ちましたので、身近に被爆者が居ました。生の体験談も聞きました。又白痴病で亡くなって行った人も見ました。たくさんの方々にこれらを知ってほしいです。

大正区・長田 敏郎さん

■新年早々こんな便りをするのは気が引けるのですが又肝臓に癌が見つかり手術する事になりましたが、民主の安井先生に「もう70歳だから手術しないでほっておこうと思えます」とお話ししたら逆に叱られました。「未だ10年は生きなければならぬ」とおっしゃいました。

大正区・西島 やす子さん

■正月は一言に13人の大家族になり、てんやわんやの内に過ぎてしまいました。幸い病人も出ず一人帰りに帰りで5日過ぎたら又元の静けさ、子供や孫達の成長を偶々日々とりました。

大正区・もとやんさん

■はじめて応募しました。他区の事も分かり楽しいです。みなさんそれぞれに頑張っておられて、私も足を手術して歩行器の力を借りて行動していますが、もっとガンバろうと思えました。

大正区・塩村 桃代さん

■みらいのまちがいがしでもらった、図書

カードを財布に入れていたのですが先日その財布を盗まれましたので、又まちがいがしで当たったらしいのにナと思っている俺です。

住之江区・田中 駿さん

■うっかりして12月号出すのを忘れていました。今月は早めに出します。きづがわおたより何時も楽しく読ませてもらっています。有難うございます。

西成区・鈴木 久美子さん

■おたよりコーナーに何回か出して頂きありがとうございます。『みらい』を配って頂くこと、まちがいがしをして頂いています。小3の孫娘と一度位当たればいいな話しています。

港区・花原 美穂子さん

■今年もよろしく願います。この問題も長女(小3)8歳と一緒に解きました。私は全く解りませんが子供は凄いですね、あつという間に解ったようです。

住之江区・堀 浩司さん

■まちがいがし初めて挑戦しました。意外と難しくてビックリしました。

港区・高瀬 夢末さん

■正月太りで2kg増えました。太るのは簡単ですが減量はなかなか大変です。

港区・川原 重信さん

■おたよりコーナーを読ませて頂き「アラッ私と同じお方が」と、お名前を見れば自分であってビックリした次第です。載せて頂いてありがとうございます。

港区・酒井 妙子さん

■毎年、Hホテルの中華料理で主人のお誕生日会をするのですが、最後にパースディケーキと写真のプレゼントがありロソクをつ

けて下さってまわりの方も祝福していただき、本当にと良い記念になりました。(主人は喜寿のお祝いでした)

大正区・泉尾 ヴィーナズさん

■まちがいがし難しさに頭を悩まされましたが、見つけることができスッキリしました。今回は図書カードが当たりますように(ねがい)

港区・宮川 幸子さん

■寒い毎日ですが、娘は公園で一杯遊んで元気もりもりです!子供は風の子って本当です!すこいなくと震えながら横で見ているお母ちゃんです。早くあたたかくなつて〜!

西区・青空 母さん

■孫から電話で「ばあちゃん千葉に一回だけ

大正区・波口 差知子さん

正解者の中から抽選で15名の方に図書カード(500円)を進呈します。

【応募方法】
 解答はイラストを切り取って、ハガキに貼ってお送りください。
 *なおハガキの余白に解答と合わせて今号の感想やご意見、近況などもお書き添え下さい。

1月号の応募総数63名で
 こたえ 61名が正解でした。



1月号の当選者 15名
 もとやん、堀浩司、北川想、西田百花、桑本百々世、塩村桃代、林節子、泉尾ヴィーナズ、高瀬夢末、伊藤明芳、花原美穂子、伊藤紀子、上野真凜、田中俊恵、西尾悠子 (敬称略)

どこ?どこ まちがいがし

どしどし
 ご応募
 お待ち
 しています

下の絵は上と7ヶ所のまちがいが
 あります。どこでしょう?



応募先 〒556-0024 塩草2-2-31-3F (郵便番号) 3月31日 必着
 大阪きづがわ生協「みらい」係 (は正確に)